

2013年7月1日
39号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足を私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確立し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

【2013年度品質目標】

- ・データセンタを有効活用するーデータから情報へ、個人知から組織知へー・BCMS (ISO22301) の認証を得る
- ・ICUを円滑稼働する・外来予約制と救急医療を推進する・24時間訪問看護ステーションを円滑稼働する・初期・後期研修制度の更なる充実を図る・TQC活動の更なる深化を図る・持続成長可能な病院運営をする

ごあいさつ



院長 永井庸次

梅雨の季節に入り、連日雨模様の毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。当院も本年6月29日でリニューアル移転後、早や3年が経過しました。間に東日本大震災を経験したとはいえ、月日の経過の早いことには驚くばかりです。

今年度は初期研修医を募集通り6名採用でき、卒後2年を経過した後期研修医も内科を主体に数名確保でき、医師数の充実は今まで以上にできました。これも臨床研修担当の諸先生を始め、当院職員、行政の方々、さらに患者の皆様方のご支援の賜物と思っております。筑波大学との社会連携講座も新たに神経内科の講師をお迎えでき、計5名の教官の方々（消化器外科、呼吸器内科、リウマチ科、消化器内科、神経内科）の診療、教育、研究体制が可能になりました。

それらのことにより、本年は今まで以上に診療面の充実（外来、救急、医療の高度化）を図りたいと考えております。その一環として7月からICU（集中治療室）を4床開設稼働いたします。ICUとは患者2名に看護師1名が配置される病棟であり、当院の医療の高度化には是非必要と思っております。これも医師、看護師の充実があってこそ可能であります。医師を含めた職員の高い使命

感の賜物とこの場を借りて職員一同に感謝申し上げる次第です。

当院は地域医療支援病院の認可を受けてから3年目になりました。地域医療支援病院とは、地域の医療機関と密に連携し、近隣の医療機関からご紹介いただいた患者さんを中心に外来予約診療を行い、一旦治療が完了されたら、一度紹介元にお帰りいただき通常の治療を継続していただくという仕組みです。当院は302床の急性期病院で、常勤医師数も60数名とかなり多い数とは思いますが、急性期の入院医療や救急に特化しなければ医師のバーンアウトを防止できず、結果的にこの地での医療の持続的な継続ができません。患者さんを含めて近隣の診療所の諸先生方と一体となって地域連携を推進していく必要があります。その意味からも、本年度は当院主催の出勤講座、市民講座をより頻繁に開催したいと思っておりますので、是非ご参加ください。

当院では5月から24時間訪問看護ステーションを開始しました。詳細は当院訪問看護ステーション「かけはし」にお電話いただければ幸いです。さらに、本年度は人間ドックの検査情報と当院の診療情報の一元化も考えています。私は地域の患者さん、人間ドック受診者の医療・健診情報と診療体制の一元化・一体化がこの地域の医療改善には不可欠であると考えています。

最後にリニューアル4年目を迎えて、心も新たに職員一同、「地域を護る病院」の使命を全うしていきたいと考えておりますので、今後共ご支援のほど、宜しくお願いいたします。

ひたちなか総合病院・総合健診センタ休日のお知らせ

7月							8月							9月							10月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5		
7	7	8	9	10	11	12	13	8	4	5	6	7	8	9	10	9	8	9	10	11	12	13	14	10	6	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17		15	16	17	18	19	20	21		13	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24		22	23	24	25	26	27	28		20	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31		29	30							27	28	29	30	31		

■は休日

節度ある適度な飲酒を

総合健診センタ 保健師 加藤 明美

暑気払いの季節ですね。古来よりアルコール飲料は祝祭や会食などで飲まれるなど、生活・文化の一部として親しまれています。

その一方、短時間での多量飲酒による急性アルコール中毒、長期にわたる飲酒でアルコール依存症や様々な臓器疾患、さらには未成年者・妊婦を通じた胎児への悪影響を引き起こすなどの側面も持ち合わせています。

一般的に「適度な飲酒」とはどのくらいの量なのでしょう。厚生労働省は様々な研究を集積した結果、男性は1日当たり純アルコール10～19g、女性は9gまでの飲酒が最も死亡率が低く、1日当たりのアルコール量が増加するに従い死亡率が上昇すると報告しています。通常のアアルコール代謝能力を持っている人には「1日平均純アルコールで約20g程度の飲酒」を推奨しています。

《節度ある適切な飲酒の留意点》

- ①女性は男性よりも少ない量が適当である。
- ②少量の飲酒で顔面が紅潮する等、アルコール代謝能力が低い方は、通常の代謝能力を有する人よりも少ない量が適当である。
- ③65歳以上の高齢者においては、より少量の飲酒が適当である。
- ④アルコール依存症においては、適切な支援のもとに完全断酒が必要である。
- ⑤飲酒習慣のない人には、この量の飲酒を推奨するものではない。



これらを参考に、また現在病気などで治療中の方は主治医に相談の上、健康保持に有効な「節度ある適度な飲酒」を楽しんでください。

《主な酒類の換算の目安》

お酒の種類	アルコール度数	純アルコール量
ビール：中瓶1本500ml	5%	20g
清酒：1合180ml	15%	22g
ウイスキー・ブランデー： ダブル60ml	43%	20g
焼酎（35度）：1合180ml	35%	50g
ワイン：1杯120ml	12%	12g

厚生労働省HPより

採用・退職医師の紹介

診療科	氏名	異動日
外科	高橋 一広	採用 (2013. 5. 1)
臨床研修医	大澤 翔	採用 (2013. 7. 1)
	河村 季生	採用 (2013. 7. 1)

訪問看護ステーションかけはし ～地域の中で～

訪問看護ステーション「かけはし」では、ひたちなか市を中心に看護師がご自宅を訪問して看護を提供しています。

「看護」といえば、フローレンス・ナイチンゲールが看護の母といわれ長い歴史があります。ご存知の方は少ないかも知れませんが、訪問看護は、1992（平成4）年に保険診療の適応となりました。

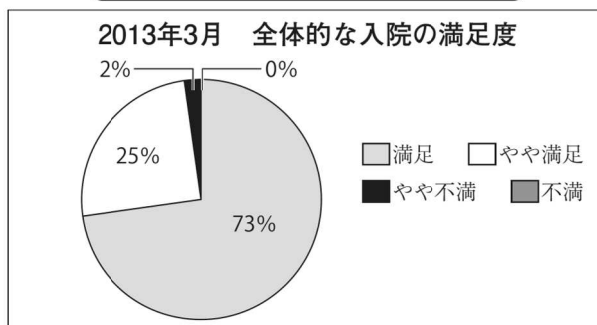
しかし、時を遡れば、ご自宅への往診や看取りのための家庭医の介助、お産婆さんによるお産の介助、さらには保健師による保健活動など看護は常に身近にあり、ご自宅を訪問して看護を行うことは、一般的にあったのではないのでしょうか。

時代とともに家族背景や社会情勢が変化し、病気の時は病院に入院するということが一般的になりました。また、「看護」といえば「病院」をイメージするようになってきていると思います。訪問看護は、住まいへ訪問という昔ながらの看護の形です。住み慣れた地域で家族と暮らす家で、何らかの病気を抱えながらも生活されている方を支える役割を担っています。そして、医療の専門職として地域で活動しています。

訪問看護ステーション「かけはし」の看護師は、ご自宅で療養されている方々を医療の専門職として支え、療養のお手伝いをしております。5月からは、療養されている方がより安心して生活ができるように24時間の体制を整えました。

これからも私たち訪問看護師は、病気や日常生活の不安、医療器具や処置に対する相談等、住み慣れた家で、一人ひとりが、安心して生活ができる地域創りをめざして支援をしていきます。

入院患者さん満足度結果が まとまりました



退院患者さんにご協力をいただき、入院についてのアンケートを実施しました。期間は2013年3月1日～31日の1ヶ月で、168件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。「全体的な入院の満足度」では、「満足」が回答の73%でした。評価が最も高かったのが「医師の対応」で、85%が満足でした。

これら集計結果の他、貴重なコメントもたくさんいただきました。今回のアンケートを参考に、皆様により安心して入院できる病院をめざして、努力して参ります。